

**三井不動産レジデンシャル × ナイキ コラボレーション施設
インクルーシブデザインを取り入れた新時代のスポーツパークが東京に登場！**

「TOKYO SPORT PLAYGROUND SPORT × ART」

2020年10月10日（土）～2021年9月20日（月・祝）期間限定オープン

三井不動産レジデンシャル株式会社（所在：東京都中央区 代表取締役社長 藤林清隆）とナイキジャパングループ合同会社（VP 兼ゼネラルマネージャー小林哲二、以下「ナイキ」）は、子供から大人、競技者、スポーツの経験・スキル・障がいに関係なく、すべての方を最大限サポートし、ストレスなくスポーツを楽しむことができるようインクルーシブデザインを取り入れた新時代のスポーツパーク「TOKYO SPORT PLAYGROUND SPORT × ART（トーキョー スポーツ プレイグラウンド サポーターテッドバイ スポーツバイアート）、以下「TOKYO SPORT PLAYGROUND」を2020年10月10日（土）～2021年9月20日（月・祝）までの期間限定で新豊洲にオープンすることをお知らせいたします。（詳細な場所は施設HPをご参照ください）
施設HP：<https://tokyo-sp.com>



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、スポーツイベントの開催には一定の制約があるなど、今なお私たちの生活に影響を及ぼしています。今般、このような誰もが遊び心をもって簡単にスポーツに参加できる場を提供することで、改めて人々に体を動かす楽しさを体感してもらいたいと考えております。

■本施設の企画意図・想い

当社は、時が経つほどに街への愛着が深まり、その街で暮らすことの価値や喜びが大きくなってゆく「経年優化」の事業理念のもと、住民のコミュニティ形成促進を通じた継続的な街づくりを推進しています。湾岸エリアでは、WANGAN ACTION プロジェクトとして様々な施設の誘致やイベントを実施し、地域コミュニティの醸成を支援しています。

本施設は、そのような当社の想いに、多様なスポーツイベントの企画をはじめとして“スポーツ文化の浸透”に取り組んでいるナイキに賛同いただき実現した、両社のコラボレーション事業です。世界の大都市と比べて公園面積が圧倒的に少ないという東京の課題を踏まえ、誰もがスポーツを楽しめる公園をコンセプトとする無料のスポーツパークをオープンいたします。

当社とナイキは、本施設を通じて東京湾岸エリアから東京におけるスポーツ文化の浸透とスポーツを通じた地域コミュニティ醸成を目指していきます。

■本施設の特徴

① インクルーシブデザインを取り入れた新時代のスポーツパーク

「TOKYO SPORT PLAYGROUND」の設計には、「インクルーシブデザイン」を取り入れ、年齢や性別、競技経験・スキル・障がいなどの有無に関係なく、全ての方を最大限にサポートし、ストレスなくスポーツを楽しむことができる環境になっております。

車いすをご利用の方も快適にすごせる場所

車いすのまま乗降り、グルグルと回転を楽しむことができる遊具をはじめ、施設内は全てのみなさまが体験でき、スムーズに移動できる環境を目指して設計しています。

ロッカールームやトイレのデザインへのこだわり

使いやすさにこだわったジェンダーレストイレや、車いすの方でも利用可能なシャワールームなどがクラブハウス内に完備されています。

子供の好奇心・発想力をかきたてる自由な遊び場

滑り台や鉄棒など遊び方が決められた遊具に沿って、子供達が遊ぶのではなく、子供ならではの自由な発想を活かして考え・楽しむ経験をやさしくサポートする遊具を採用しています。



② 期間限定オープンを踏まえて、サステナブルな施設作りと運営を実施

ランニングトラック・バスケットボールコート・広場などのフロア素材には、ナイキ製品の製造工程で発生する余剰製造素材や使用済み製品を再利用したNike Grind (ナイキ グラインド) を、施設総面積の約 35% に使用しています。また、ラウンジスペース内には廃材を再利用した家具を設置するなど、地球環境、そしてスポーツの未来を守ることをコンセプトにサステナブルデザインを取り入れたスポーツパークです。

脱プラスチックへの挑戦

施設内には自動販売機ではなく無料のウォーターサーバーを設置し、マイボトルの持参をお願いすることでプラスチックごみの削減に取り組めます。本取り組みを通じて、利用するひとりひとりが少しでもプラスチックごみについて考え、持続可能な社会への第一歩を踏み出すきっかけを作ることを目指します。

※本取り組みは、無印良品の「自分で詰める水」と連動した取り組みです。

Nike Grind をはじめとするサステナブルな素材へのこだわり

パークのフロア素材の一部に Nike Grind を用いるほか、ラウンジスペースの内装材、椅子やテーブル、小物には、倉庫などの外壁として使われていた板材、家屋解体で発生する廃材、産業廃棄物の木材パレット等を再利用しています。製造して終わりではなく、使われなくなった後の製品ライフサイクルもデザインすることでサステナブルへ真正面から取り組んでいます。



③ 各年代を代表する6つのNIKE シューズからインスピレーションを得たデザイン

各年代を代表する6つのシューズからインスピレーションを得たデザインを各エリアにグラフィックで表現し、ナイキの歩みをパーク内に記しています。

ランニングトラックのデザインは1960年代を「はじまりのものがたり」と題し” コルテッツ” から、遊具がある広場のデザインは1970年代を「ナイキブランドの誕生」と題し” ワッフル トレーナー” から、ジャングルジムのデザインは1980年代を「新しい場所へ」と題し” ラバハイ” から、3x3のバスケットコートは1990年代を「世界中に羽ばたく」と題し” エア レイド” から、スケートボードプラザのデザインは2000年代を「スポーツとストリートの出会い」と題し” SB ダンク” から、パークを一望できる高台のデザインは2010年代を「エアの進化」と題し” エア マックス” からインスピレーションを得ています。

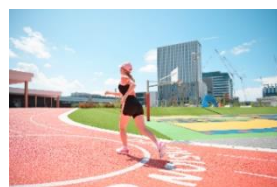


■施設詳細

「TOKYO SPORT PLAYGROUND」は、6つのエリアとクラブハウスで構成されています。6つのそれぞれのエリアでは前述の6つのNIKE シューズからインスピレーションを得たデザインが施され、様々なスポーツを楽しむことができます。また、スポーツを快適に楽しめるよう、クラブハウスにはシャワーやロッカールームを整備しております。

① CORTEZ TRACK (コルテッツ トラック)

パーク全体を取り囲む様に配置され、独特のトラックの形から、常識を打ち破る高低差まで、非日常感溢れる1周280mのランニングトラック。トラックには、ナイキの前身であるBlue Ribbon Sports (ブルーリボンスポーツ) のロゴがあしらわれ、フロア素材にはNike Grindを使用しています。



デザインインサイト：NIKE CORTEZ (1960年代)

最も歴史のあるアイコン的なシューズ。1967年にナイキの前身であるブルーリボンスポーツとして、日本のスポーツメーカーのシューズをアメリカで輸入販売していた頃に、2社の契約の一環として製作されました。1971年にナイキブランドを立ち上げ、日本のスポーツメーカーとの関係は終了し、その後、1974年にナイキが「コルテッツ」の商標権を得ることとなりました。

② WAFFLE TRAINER SQUARE (ワッフル トレーナー スクエア)

自然からインスピレーションを得た遊び心溢れる遊具と、様々なスポーツを楽しむことができる広場。広場では、ヨガやダンスなどスポーツのジャンルに捉われない様々なアクティビティが楽しめます。また、フロア素材にはNike Grindを使用しています。



デザインインサイト：NIKE WAFFLE TRAINER (1970年代)

ランニングシューズに革新的なアイデアを生んだワッフルソールのシューズ。オレゴンで生まれたアイデアは、1973年に日本の工場ですべて初めて製造されました。この革新的なデザインのシューズは、発売後間もなくしてランナーの人気を得て、その40年後には日本のデザイナーとのコラボレーションにも登場するなど、現在でもスポーツを超えたスタイルアイコンとしての地位をも獲得しています。

③ ACG ADVENTURE (エーシージー アドベンチャー)

ボルダリングからインスピレーションを得た立体ジャングルジム。360° どの方面からもクライミングが可能です。



デザインインサイト : NIKE LAVA HIGH (1980 年代)

80 年代に入ると、ナイキはランニングやチームスポーツ以外の分野にも拡大を始め、アウトドアのハイキングやクライミング向けのラバハイのようなカラフルなシューズやアパレルのデザインを開始し、後に ACG (エーシージー) : オール・コンディショニング・ギアと呼ばれるコレクションとして展開しました。日本を含む世界中の自然豊かな行楽地からインスピレーションや名前を得ており、ラバーハイ、ラバドーム、タカオなどのスタイルは、現在でも根強いファンに愛されています。

④ AIR RAID COURT (エア レイド コート)

色彩豊かなコートデザインが特徴的な向かい合った 3×3 のバスケットボールコート。一体利用でフルコートのプレーも可能。



デザインインサイト : NIKE AIR RAID (1990 年代)

1990 年代に入ると、バスケットボールの人気の世界に広がっていきました。野外のバスケットボールコートが世界にも増える中、日本でもナイキが原宿に 3 人制ゲーム用のコート「NIKE HOOP-TOWN」を作るなど、その流行の先端を走っていました。ナイキのデザイナーのティンカー・ハットフィールドは、アウトドアコートでプレーする人々に向けてシューズをデザインしようと考え、野外に対応する頑丈さと、バスケットボールにも、スニーカーヘッズにも愛されるスタイルを兼ね備えたエアレイドを生み出しました。

⑤ SB DUNK SKATE PLAZA (エスピー ダンク スケート プラザ)

ステア、バンク、ボックス、レールなどストリートのあらゆる要素が詰まったスケートプラザ。プラザ内には車いすのままでも遊ぶことのできる回転遊具が設置され、初心者でもスケートが楽しめます。



デザインインサイト : NIKE SB DUNK (2000 年代)

2000 年頃には、スケートボードは、アウトサイダー達の趣味や子ども達の遊びという枠から、国際的にも認められるスポーツの地位を確保していました。そして更に、スタイルやカルチャーにおいて多大なる影響力を持つ存在へと変貌していきました。パークのデザインにも見られる、その中でも特に有名となったダンクプロ SB コラボレーションを皮切りに、スポーツ、ストリート、ファッションとの完璧な融合を果たし、日本におけるナイキ SB の黄金期の幕開けを飾りました。

⑥ AIR MAX TERRACE (エアマックス テラス)

パーク内すべてのエリアが一望出来る高台。



デザインインサイト : NIKE AIR MAX (2010 年代)

ナイキ エアが初めて商品に搭載されたのは 1978 年、日本製のテイルウインドの中でした。しかし 1987 年 3 月 26 日のエア マックスの誕生まで、エアバックは見せるためのものではなく、機能として内蔵されているものでしかありませんでした。その後、エアバックは年々改善されていき、今となっては新しいモデルには欠かせないエア マックスのアイコン的な特徴となりました。エア マックスの人気と進化は止まることなく、毎年、世界中で 3 月 26 日をエア マックスデーとして祝福しています。

■CLUB HOUSE (クラブハウス)

ラウンジスペースとレセプション、ロッカースペースを備えた、TOKYO SPORT PLAYGROUND のエントランス。



■今後様々なイベントを予定

本施設を通じた地域コミュニティ醸成を促進するため、定期的にイベント・プログラムを提供します。

現時点では、スケーター高野紗也華氏による、週1回の無料イベント「ガールズナイト」を予定しています。「ガールズナイト」は、男性ばかりだと飛び込みづらい女性スケートボーダーのために、SB DUNK SKATE PLAZA に女性限定の時間を設け、高野氏がコミュニティリーダーとして利用をサポートするイベントです。

今後、バスケットボールや陸上のイベントはもちろん、ファミリー・キッズ向けイベント、障がいをお持ちの方も参加頂けるイベントなど、順次企画をしていく予定です。



高野紗也華 (Sayaka Takano) SKATER

1994 年生まれ、神奈川県出身。

大学時代にスケートボードを始め、アパレルショップスタッフを経て、ナイキが運営するスケートパーク「Nike SB dojo」に勤務。キッズへのレッスン会をはじめ、ガールズイベント開催などスケートの普及に取り組んでいる。



※イメージ画像

■新型コロナウイルス感染防止対策

皆さまに安心してご利用いただけるよう、スタッフはマスク着用、手洗い・手指消毒の徹底、検温を実施するほか、対面カウンターには飛沫防止パネルを設置するなど、行政の指導に基づいて対策を講じたうえで運営いたします。HP では、お客さまがご利用を検討いただく際の参考情報として、施設の混雑状況をリアルタイムで表記します。

またお客さまにも、ご利用前にセルフチェックを実施のうえで施設をご利用いただけます。

<添付資料1> 「TOKYO SPORT PLAYGROUND SPORT×ART

(トーキョー スポーツ プレイグラウンド サポートッドバイ スポーツバイアート)」の概要

所在地	東京都江東区豊洲6丁目4-1
交通	ゆりかもめ「新豊洲」駅北口より徒歩2分／ 東京メトロ有楽町線「豊洲」駅7番出口より徒歩13分
敷地面積	6,995.46㎡
企画・施設運営	三井不動産レジデンシャル株式会社
企画・デザイン	ナイキジャパングループ合同会社
協賛	東京ガス株式会社、東京ガス不動産株式会社、無印良品
開業期間	2020年10月10日(土)～2021年9月20日(月・祝)
営業時間	平日15:00～21:00(最終受付20:00)、土日祝日10:00～21:00(最終受付20:00) ※イベント実施時、年末年始は営業時間が異なる場合や、終日・一部貸切日がございます。詳細は施設HPをご確認ください。URL： https://tokyo-sp.com/#schedule
利用方法	入場は無料。ご利用に際してはナイキアプリからの事前予約制。 ※当日入場する際もナイキアプリから受付を行います。 ※新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の予防及び感染拡大防止のため、人数制限をする場合がございます。
利用上の注意点	13歳未満の方の入場は保護責任者(成人)の同伴を推奨しています。 同伴されない13歳未満の方は利用規約の「利用に関する同意書」を受付でご提出いただく必要があります。
ホームページ	https://tokyo-sp.com

<添付資料2> WANGAN ACTIONについて

「住んでからもお客様に幸せを届ける」をテーマに、マンションというハード面だけではなく、「豊かな時間」「豊かな心」というソフト面も同時に提供する事業を推進します。さらに、SDGsへの貢献活動や新しい事業領域に挑戦し、エリア全体を面で捉え、湾岸エリアの地域活性化を図って参ります。住民が一体となったコミュニティを形成し、住み続けたい街にするために、「食」「スポーツ」「アート」「教育」「音楽」「環境」などの幅広い分野において、住民が楽しみを体験・共有できる様々な活動を支援する三井不動産レジデンシャルの取り組みです。

「TOKYO SPORT PLAYGROUND SPORT×ART」も、WANGAN ACTIONの取り組みの一つとなります。

URL：<http://wangan-action.jp/>



<添付資料3> 三井不動産グループのSDGsへの貢献について

https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）を意識した事業推進、すなわちESG経営を推進しております。当社グループのESG経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。

*なお、本リリースの取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）における4つの目標に貢献しています。

目標3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

目標11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

目標12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する

目標14 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**